

「大江戸玉すだれ公演」鑑賞と「大嘗宮」見学ツアーの報告 2019.12.01

2019年11月29日(金)、国立演芸場で行われた「大江戸玉すだれ」の公演の鑑賞と「大嘗祭」の行われた皇居東御苑の「大嘗宮」の一般公開に合わせて、熊谷座の秋のイベントとしてツアーを行いました。

Iさんは欠席、座長は都合で、夕方からの憲政会館の見学と「大江戸玉すだれ」の公演の鑑賞から参加となりましたが、他は大嘗宮見学、夕食会、公演鑑賞と貴重かつ有意義な一日を過ごしました。

寒かったですが、幸い風も吹かずにお天気に恵まれた日でのツアーでした。



東京駅前の「KITTE」内の食堂街でお蕎麦を食べた後、皇居へ向かいました。



坂下門へ向かう人々
(人出は多いですが待ち時間もなく順調に入門)



途中の紅葉も見事。青空と紅葉のコントラストも…
大嘗宮とその前の人混みが見えてきた。



建屋の屋根、柱が真新しい木そのままでした。



大嘗宮正面ではなかなか前まで行けず。
正面の鳥居(南神門)は木の表面が皮そのままでした。





大嘗宮の西側からの全体像

斎庫(新穀の保管庫)よしず(?)で囲われ、榊の枝が飾られた建屋



大嘗宮の裏手(北側)は人出も少ないので皆でパチリ。

大嘗宮の北側には江戸城天守台のうつくしい石垣(石垣がきれいな直方形で組まれていました。)



出口は平川門

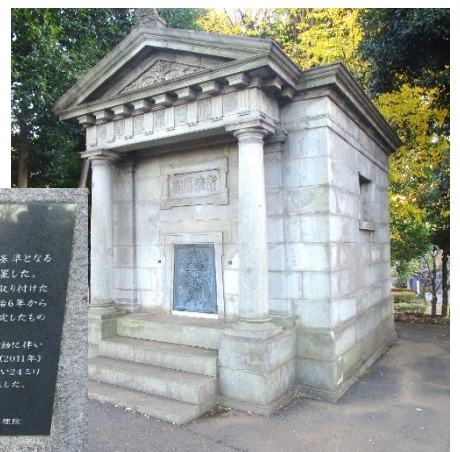
歩き疲れた皆さん、メトロの竹橋駅(毎日新聞前)近くで小休止。



竹橋駅からメトロで飯田橋経由桜田門まで移動。座長と待合せた後、日本水準原点、三権分立の時計台、憲政会館、を見学。

日本水準原点

国土地理院の電子基準点
(GPSなど衛星測位システムの電波を受信)



当初、大江戸玉すだれの公演鑑賞と食事会を予定していましたが、「大嘗祭」のために立てられた「大嘗宮」が18日間一般公開されると聞き、急遽計画に追加しました。

一般公開については混雑具合が分からずしんぱいでしたが、結果的に待ち時間0で入場し、見学することができました。

「大嘗宮」は清水建設が請け負い、全国の名だたる宮大工の棟梁を訪ね、腕利きの宮大工を確保して、2019年7月26日に造営に着手し、120名の宮大工が腕を振ったとのことでした。

大嘗祭の祭祀にのみ使い、一般公開終了後解体するのはもったいないと思いますが、こういう神事のものはやむを得ないのかな。

「大江戸玉すだれ」公演は、休憩15分を挟んで、2時間たっぷりの公演で、十分に楽しむと同時に、玉すだれの技には取り入れるべきものが多くあったように思いました。

ただ踊りも含めてのパフォーマンスであり、我々には難しいかな・・・

公演が夜の部のため夜9時に終わり、帰ったら午後11時過ぎていました。参加の皆さんお疲れさまでした。来年も良いイベントをやりましょう！

記・写真 加藤